

週間感染症情報

2026年6週～8週 2026年2月2日より2026年2月22日まで

6週 7週 8週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	3	2	
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	3	4	6
手足口病		1	
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑	2	1	
感染性胃腸炎	57	33	34
ノロウイルス(再掲)		1	
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	1		1
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	2	3
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	1	1	
RSウイルス感染症	1	1	5
マイコプラズマ感染症	4	6	
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ	250	282	276
インフルエンザ A	16	3	2
インフルエンザ B	206	207	230
新型コロナウイルス感染症	27	11	12

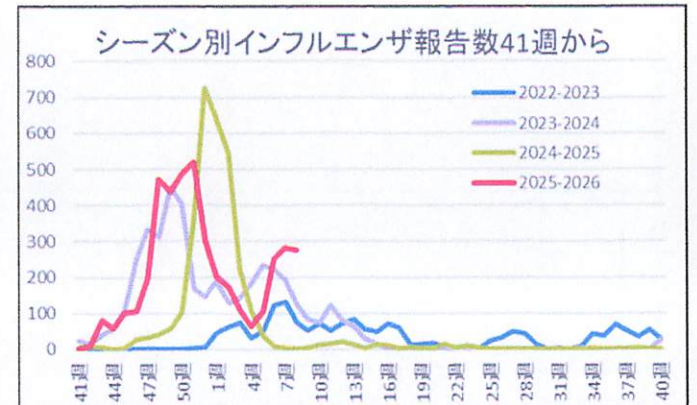
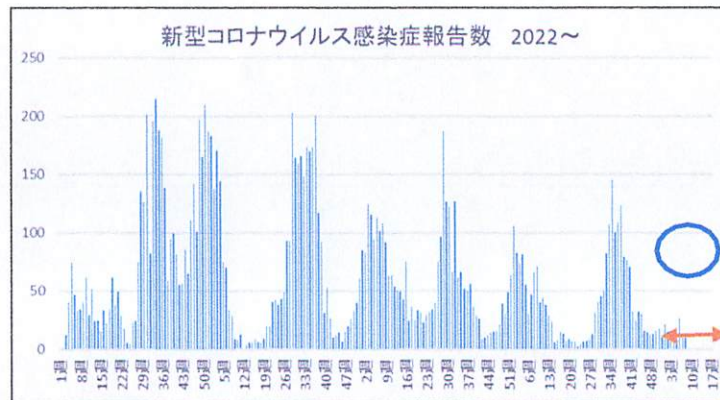
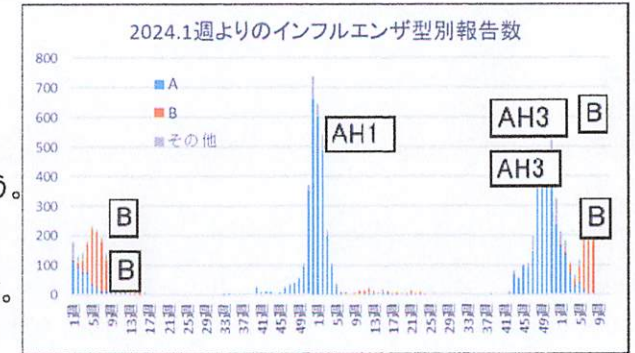
遅くなりましたが、6～8週の3週間分の報告です。A型の流行は終息しました。入れ替わりに、B型の流行が立ち上がり、6週から250例以上の報告が続いています。右下のグラフのように8週でピークを迎えたようで、春休みに入ると終息すると予想しています。中学生から始まった流行は家族内感染で地域に広がっています。A型とB型と2回罹患する症例も多く、教育委員会からの報告では小・中学校の罹患率は40%を超えています。

幼稚園・こども園の罹患率は低いので、感染対策をしっかりしましょう。コロナの報告は少なく、今のところ例年の冬のピークがありません。ウイルスがいなくなったわけではないので、これから注意が必要です。

クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の5-6人がり患し、1週間するとクラスの半数がり患して、2週間でクラス内の流行は終息します。

インフルエンザBの流行のためか、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎は大きな流行にはなっていません。マイコプラズマ感染症の報告も続きます。発熱・咳が長引く場合は、鑑別診断にあげてください。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)